



2024年12月19日

各 位

会社名 dely株式会社
代表者名 代表取締役 堀江裕介
(コード番号: 299A 東証グロース市場)
問合わせ先 取締役 CFO 戸田翔太
TEL. 03-6420-3878

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年12月19日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、2025年3月期（2024年4月1日から2025年3月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最新の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	2025年3月期 (予想)			2025年3月期 第2四半期累計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	12,568	100.0	27.0	5,836	100.0	9,897	100.0
営業利益	2,526	20.1	7.9	1,267	21.7	2,340	23.6
(ご参考)Non-GAAP 営業利益	2,681	21.3	7.4	1,344	23.0	2,495	25.2
経常利益	2,499	19.9	7.5	1,240	21.2	2,325	23.5
当期(中間) 純利益	1,613	12.8	8.8	787	13.5	1,482	15.0
(ご参考)Non-GAAP当 期(中間)純利益	1,760	14.0	8.1	860	14.7	1,628	16.5
1株当たり当期 (中間)純利益	39円06銭			19円07銭		35円89銭	
(ご参考)Non-GAAP 1 株当たり当期 (中間)純利益	42円62銭			20円84銭		39円42銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		0円00銭	

注

1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成していません。
2. Non-GAAP 営業利益は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、営業利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費を加算しております。
3. 2024年3月期（実績）及び2025年3月期第2四半期累計期間（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 当社は2024年10月15日付けで株式1株あたり10株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。
5. Non-GAAP 当期（中間）純利益は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、当期（中間）純利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費を加算し、加算した償却費に対応する税金調整額を調整しております。

【Non-GAAP営業利益及びNon-GAAP当期（中間）純利益の調整表】

（単位：百万円）

決算期 項目	2025年3月期 (予想)	2025年3月期 第2四半期累計 期間 (実績)	2024年3月期 (実績)
営業利益	2,526	1,267	2,340
+ のれん償却費	128	64	128
+ 契約関連無形資産償却費	26	13	26
Non-GAAP 営業利益	2,681	1,344	2,495

（単位：百万円）

決算期 項目	2025年3月期 (予想)	2025年3月期 第2四半期累計 期間 (実績)	2024年3月期 (実績)
当期(中間)純利益	1,613	787	1,482
+ のれん償却費	128	64	128
+ 契約関連無形資産償却費	26	13	26
- 調整項目に対する税金調整額	8	4	9
Non-GAAP 当期（中間）純利益	1,760	860	1,628

【2025年3月期業績予想の前提条件】

1. 当社事業の概要

当社は、「BE THE SUN(太陽のように熱い情熱を燃やし、世界に大きなインパクトを与える存在になる)」を企業としてのビジョンに掲げ、世界を照らす発明を続けることをミッションとして、会社経営や連続的な事業作りを通じて、世界の幸せの最大化と悲しみの最小化に絶えず挑戦しております。

当社は、リテールデジタルプラットフォーム・エンターテインメントに係る複数のプロダクト・サービスを展開しており、具体的なサービスとしては、「クラシル」、「クラシルリワード」、「クラシルジョブ」、「TRILL」(トリル)、「LIVEwith」(ライブウィズ)があります。

当社は「プラットフォーム事業」の単一セグメントであります。上記のサービス・プロダクトをソリューションや収益ラインの特徴により、メディア(認知)、購買(販促)及びその他領域の3つの領域に分類しております。メディア(認知)及び購買(販促)の領域は併せてリテールデジタルプラットフォームとカテゴリ化しており、小売関連企業が抱える「集客」・「人材不足」・「DX」への課題を網羅的に解消することを目的に、現在当社の注力分野としております。

メディア(認知)、購買(販促)及びその他領域の収益の構成は以下の通りとなります。

(メディア(認知)領域)

メディア(認知)領域の売上収益は、主に当社リテールデジタルプラットフォームにおける広告サービスとして、「クラシル」、「クラシルリワード」、「TRILL」(トリル)があり、それらのサービスにおける有料課金収益、アドネットワーク広告収益、タイアップ広告収益、掲載収益で構成されております。

(購買(販促)領域)

購買(販促)領域の売上収益は、主に「クラシルリワード」及び「クラシル比較」におけるアフィリエイトとマストバイにかかる収益で構成されており、その他「クラシルジョブ」におけるHR収益があります。

(その他領域)

その他領域の売上収益は、主にクリエイターマネジメントサービスを提供する「LIVEwith」(ライブウィズ)のライブ配信収益で構成されております。

メディア(認知)領域及び購買(販促)領域における、当社の収益の源泉である我が国の総広告費は年々上昇傾向にあり、2023年の日本の総広告費は7兆3,167億円であり、2023年のインターネット広告費はコネクテッドTV(インターネット回線へ接続されたテレビ端末)などの利用拡大に伴う動画広告の需要増加や、デジタル販促の積極的な市場拡大が追い風となり、3兆3,330億円(前年比107.8%)となっております。(注1)今後デジタルトランスフォーメーションがさらに進み、デジタルを起点にした既存メディアとの統合ソリューションも進化していくことが見込まれます。

加えて、国内の販促市場は15兆円(注2)という広大な市場が広がっているものの、現状では広告のようにデジタル化が進んでおりません。その状況下、足元ではリテールメディアと呼ばれる、より消費者の購買に近い領域でのデジタル化が進んでおり、今後急速にデジタル化が進んでいくと考えております。当社では「クラシル」関連サービスを用い、ユーザーの行動データとして、位置情報や購買情報を有しており、このような顧客データを活用し、食品・飲料企業様及び小売企業様に対し、高効率のプロ

モーションサービスを提供することで、他社に先んじてデジタル化を推進しております。

(注1) CARTA COMMUNICATIONS/電通/電通デジタル/セプテーニ発表の『2023年 日本の広告費』(2024年2月27日発表)より

(注2) 株式会社レイヤーズ・コンサルティングの開示情報における2020年の推定値に基づく

2. 業績予想の前提条件

当該業績予想数値は2024年8月までの実績値に、2024年9月以降の予想数値を合算して策定の上、2024年9月の取締役会での決議を経たものであり、9月以降の月次見通しと本開示時点までの実績に大きな差異は生じておりません。

(売上高)

a. メディア（認知）領域

メディア（認知）領域は、デジタル広告需要が旺盛だった事などにより第1四半期まで好調に推移してまいりました。第2四半期につきましては、アドネットワーク広告収益が2024年7月末より開催されたパリ五輪による国民的イベントや台風などの自然災害の影響等があり、ページ閲覧数の減少及び、広告の在庫需要の減少による広告単価の下落などによる影響を一時的に受けたものの、足元では「クラシルリワード」のMAU(注1)の底堅い成長や、チラシ掲載事業の成長などを背景に回復傾向にあり、当年度第2四半期累積の同領域の売上高は3,702百万円となりました。

今後の見通しについては、2024年7月末からのアドネットワーク広告の一時的な需要減少による広告単価の下落やページ閲覧数の減少は回復傾向にあるものの、広告単価やページ閲覧数の水準を、今期の残りの計画期間にも一定程度保守的に織り込み、同領域における2025年3月期の売上高は、7,311百万円（前期比1.2%減）を計画しております。

b. 購買（販促）領域

購買（販促）領域は、引き続きクラシルで確立された強固なブランド・ポイント・ユーザー基盤を活かした、「クラシルリワード」のユーザー数が継続的に増加したほか、「クラシル」で培った食料・飲料メーカーや小売企業などの顧客基盤開拓等により、当年度第2四半期累積の同領域の売上高は1,095百万円となりました。今後は、「クラシルリワード」のユーザー数の継続的な増加、ユーザーアクティビティの増加、提携顧客基盤の拡充を通じた、アフィリエイト及びマストバイ収益の成長を中心に見込み、同領域における2025年3月期の売上高は、2,866百万円（前期比360.8%増）を計画しております。

c. その他領域

その他領域は、現状アクティブライブ配信者数は堅調に推移し、当年度第2四半期累積の同領域の売上高は1,038百万円となりました。今後は引き続きアクティブライブ配信者数が堅調に推移する見込みであり、同領域における2025年3月期の売上高は、2,390百万円（前期比27.3%増）を計画しております。

(注1) マンスリーアクティブユーザー

以上を踏まえ、2025年3月期の業績見通しにつきましては、当社全体の売上高は12,568百万円（前期比27.0%増）を見込んでおります。

（売上原価）

売上原価の主な内訳としては、「クラシルリワード」におけるコインのユーザー還元費用やライバーへの報酬があげられます。売上高の増加、及びメディア（認知）領域と比較して、相対的に売上原価率が高い購買（販促）領域及びその他領域の成長に伴う当社事業構成の変化を見込んでいるため、2025年3月期の売上原価は6,255百万円（前期比38.8%増）を計画しております。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費、営業利益は、主として人件費、広告宣伝費で構成されております。

人件費については、事業拡大による採用強化や昇給を見込んでいるほか、広告宣伝費については、当社が提供するサービスのユーザー数の増加を目的としたデジタル広告の継続的な投資を見込んでおります。

新規領域の成長に必要な投資は継続する一方、規模拡大に応じたオペレーティングレバレッジの進展を通じて、2025年3月期の販売費及び一般管理費は3,787百万円（前期比24.2%増）増加する一方、売上高対比30.1%（前期30.8%）と減少する計画となり、結果として営業利益は2,526百万円（前期比7.9%増）を計画しております。

(1) 営業外損益、経常利益

営業外費用については、主に為替差損と上場関連費用となります。

以上を踏まえ、2025年3月期の経常利益は2,499百万円（前期比7.5%増）を計画しております。

(2) 特別損益、当期純利益

2025年3月期において特別利益・損失の発生見込みはございません。以上のほか法人税等を考慮した結果、2025年3月期の当期純利益は1,613百万円（前期比8.8%増）を計画しております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月19日

上場会社名 dely株式会社 上場取引所 東
コード番号 299A URL <http://dely.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)堀江 裕介
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)戸田 翔太 (TEL) 03(6420)3878
半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益		1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	5,836	32.1	1,267	32.8	1,240	29.8	787	30.4	19.07	—
2024年3月期中間期	4,418	—	954	—	955	—	604	—	14.62	—

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期中間期 — 百万円 2024年3月期 — 百万円

	Non-GAAP 営業利益		Non-GAAP 中間純利益		1株当たり Non-GAAP 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり Non-GAAP 中間純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1,344	30.3	860	27.2	20.84	—
2024年3月期中間期	1,031	—	677	—	16.39	—

- (注) 1. 2023年3月期第3四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、2023年3月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 当社は、2024年10月15日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益を算定しております。
4. Non-GAAP営業利益は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、営業利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費を加算しております。
5. Non-GAAP中間純利益は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、中間純利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費を加算し、加算した償却費に対応する税金調整額を調整しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	11,496	9,689	84.2
2024年3月期	10,535	8,906	84.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 9,682百万円 2024年3月期 8,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,568	27.0	2,526	7.9	2,499	7.5	1,613	8.8	39.06

	Non-GAAP 営業利益		Non-GAAP 当期純利益		1株当たり Non-GAAP 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,681	7.4	1,760	8.1	42.62

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無
 2. 当社は、2024年10月15日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たりNon-GAAP当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	41,313,000株	2024年3月期	41,313,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	41,313,000株	2024年3月期中間期	41,313,000株

- (注) 当社は、2024年10月15日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「BE THE SUN (太陽のように熱い情熱を燃やし、世界に大きなインパクトを与える存在になる)」を企業としてのビジョンに掲げ、広く人々の支えになるサービスを生み出す会社になることで、そのビジョンを実現していきたいと考えております。

そのような考えのもと、当社はリテールデジタルプラットフォーム事業を運営しております。リテールデジタルプラットフォーム事業は、料理などのライフスタイルコンテンツを提供する「メディア（認知）」、気になった商品をオンライン及びオフラインでお得に購入する「購買（販促）」などからなります。

当中間会計期間におけるわが国経済は、賃上げ効果の浸透やインバウンド需要などにより、景気は緩やかな回復が見られました。一方で、為替変動リスクや地政学リスク、政情変化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況の中において当社は、購買事業を中心にユーザー数の拡大やプロダクトの強化を推進してまいりました。

(中間会計期間サービス領域別売上高)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		
	金額 (千円)	金額 (千円)	前中間期 増減金額 (千円)	対前中間期 増減率 (%)
メディア（認知）	3,373,158	3,702,880	329,721	9.8%
購買（販促）	119,117	1,095,339	976,222	819.5%
その他	926,572	1,038,428	111,856	12.1%
合計	4,418,848	5,836,648	1,417,800	32.1%

(第2四半期会計期間サービス領域別売上高)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年6月30日)		
	金額 (千円)	金額 (千円)	前年当期 増減金額 (千円)	対前年同期 増減率 (%)
メディア（認知）	1,706,912	1,685,594	△21,317	△1.2%
購買（販促）	115,545	626,175	510,629	441.9%
その他	487,840	527,374	39,534	8.1%
合計	2,310,297	2,839,144	528,846	22.9%

以上の結果、当中間会計期間の売上高は5,836,648千円、Non-GAAP営業利益は1,344,882千円、中間純利益は787,915千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は9,508,777千円となり、前事業年度末に比べ、917,722千円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が110,988千円増加、現金及び預金が755,290千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,987,721千円となり、前事業年度末に比べ、43,486千円増加いたしました。これは主にのれんが64,239千円減少、繰延税金資産が79,965千円増加、投資有価証券49,955千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債は1,806,586千円となり、前事業年度末に比べ、178,242千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が51,534千円増加、賞与引当金が13,223千円増加、ユーザー還元引当金が122,428千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は9,689,911千円となり、前事業年度末に比べ、782,966千円増加いたしました。これは中間純利益の計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ755,290千円増加し、7,842,642千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、827,995千円の収入（前年同期は141,210千円の支出）となりました。これは主に、税引前中間純利益が1,240,264千円計上により増加、ユーザー還元引当金が122,428千円増加した一方で、売上債権の増加120,032千円、法人税等の支払額480,553千円資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、72,705千円の支出（前年同期は101,489千円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出17,801千円、投資有価証券の取得による支出54,904千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想については、本日公表した「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前会計年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,087,352	7,842,642
売掛金及び契約資産	1,343,563	1,454,552
貸倒引当金	△11,598	△12,076
貯蔵品	4,931	3,961
前払費用	138,363	142,370
その他	28,441	77,326
流動資産合計	8,591,054	9,508,777
固定資産		
有形固定資産		
建物	193,252	193,987
減価償却累計額	△47,009	△54,308
建物(純額)	146,242	139,679
工具、器具及び備品	132,663	136,972
減価償却累計額	△101,780	△108,732
工具、器具及び備品(純額)	30,883	28,239
建設仮勘定	—	6,050
有形固定資産合計	177,125	173,968
無形固定資産		
のれん	770,875	706,635
契約関連無形資産	53,459	40,094
その他	12,942	11,566
無形固定資産合計	837,277	758,297
投資その他の資産		
敷金	132,906	125,973
繰延税金資産	793,756	873,722
破産更生債権等	229	251
投資有価証券	—	49,955
長期前払費用	3,168	5,804
貸倒引当金	△229	△251
投資その他の資産合計	929,831	1,055,455
固定資産合計	1,944,234	1,987,721
資産合計	10,535,289	11,496,498

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	579,212	531,749
未払費用	49,606	41,401
未払法人税等	480,686	532,221
契約負債	11,209	14,163
賞与引当金	54,170	67,394
ユーザー還元引当金	376,733	499,161
その他	76,724	120,494
流動負債合計	1,628,344	1,806,586
負債合計	1,628,344	1,806,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,707,148	3,707,148
利益剰余金	5,092,276	5,880,192
株主資本合計	8,899,425	9,687,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△4,949
評価・換算差額等合計	—	△4,949
新株予約権	7,520	7,520
純資産合計	8,906,945	9,689,911
負債純資産合計	10,535,289	11,496,498

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,418,848	5,836,648
売上原価	2,017,833	2,817,800
売上総利益	2,401,014	3,018,848
販売費及び一般管理費	1,446,638	1,751,570
営業利益	954,376	1,267,278
営業外収益		
受取利息	27	608
為替差益	220	—
ポイント収入	720	819
受取遅延損害金	349	—
その他	120	694
営業外収益合計	1,438	2,122
営業外費用		
上場関連費用	—	2,000
為替差損	—	26,738
その他	—	397
営業外費用合計	—	29,136
経常利益	955,814	1,240,264
税引前半期純利益	955,814	1,240,264
法人税、住民税及び事業税	250,607	532,314
法人税等調整額	101,186	△79,965
法人税等合計	351,794	452,348
中間純利益	604,020	787,915

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	955,814	1,240,264
減価償却費	21,265	15,626
契約関連無形資産償却	13,364	13,364
のれん償却額	64,239	64,239
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,028	13,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,775	500
ユーザー還元引当金の増減額 (△は減少)	132,699	122,428
受取利息	△31	△608
売上債権の増減額 (△は増加)	△166,403	△120,032
契約資産の増減額 (△は増加)	38,800	9,043
前払費用の増減額 (△は増加)	33,214	△6,642
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△813	969
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△11	△22
未払金の増減額 (△は減少)	23,646	△40,339
契約負債の増減額 (△は減少)	13,430	2,953
未払費用の増減額 (△は減少)	△125,141	△8,205
その他	△399,147	1,268
小計	650,732	1,308,033
利息の受取額	27	515
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△791,970	△480,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141,210	827,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,248	△17,801
投資有価証券の取得による支出	—	△54,904
資産除去債務の履行による支出	△68,300	—
敷金の回収による収入	370,302	—
敷金の差入による支出	△183,264	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	101,489	△72,705
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,721	755,290
現金及び現金同等物の期首残高	5,593,838	7,087,352
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,554,117	7,842,642

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び定款一部変更)

当社は、2024年9月17日開催の取締役会決議に基づき、2024年10月15日付で株式分割及び定款一部変更を行っております。

1. 株式分割の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として株式分割を実施いたしました。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2024年10月14日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき、10株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	4,131,300株
今回の分割により増加した株式数	37,181,700株
株式分割後の発行済株式総数	41,313,000株
株式分割後の発行可能株式総数総数	165,252,000株

(3) 分割の日程

基準日	2024年10月14日
効力発生日	2024年10月15日

3. 1株あたり情報に及ぼす影響

「1株あたり情報」は、当該株式分割が当会計年度の期首に行われたと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所反映されております。

4. 定款の一部変更について

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年10月15日をもって、当社定款第6条を変更し、発行可能株式総数を分割比率に合わせて変更するものといたします。

(2) 変更の内容

発行可能株式総数を、16,525,200株から165,252,000株へ引き上げました。

(3) 日程

効力発生日	2024年10月15日
-------	-------------

5. その他

今回の株式分割に際し、資本金の額の変更はありません。